

数 学

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 試験開始の指示があったら、すぐに「問題」と「答案用紙」および「計算用紙」の種類と枚数が以下のとおりであることを確認し、受験番号を「答案用紙」の6枚すべてに記入してください。
 - 問題 1枚
 - 答案用紙 (数学その1) ~ (数学その6) 各1枚 計6枚
 - 計算用紙 (その1) ~ (その3) 各1枚 計3枚

(この「注意事項」は「計算用紙(その3)」のうら面に印刷されています。)
3. 「問題」1枚と「答案用紙」6枚および「計算用紙」3枚の種類や枚数が異なる場合や印刷が不鮮明な場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答は各答案用紙の指定された場所を書いてください。(数学その1) および(数学その2) では、おもて面に解答し、(数学その3) ~ (数学その6) では、うら面を使用する場合はその旨を記してください。
5. 「問題」1枚および「計算用紙」3枚は草案として使用してもかまいませんが、採点対象とはしません。必ず持ち帰ってください。
6. 試験終了後、「答案用紙」6枚はすべて回収します。上から(数学その1)、(数学その2)、…、(数学その6)の順に、おもて面を上にして、ひろげた状態で用紙の上下をそろえて6枚重ねてください。
7. すべての確認作業が終了するまで着席しててください。

平成 28 年度入学者選抜試験問題 (数学)

1 次の問題文の空欄 から にあてはまるものを解答欄に記入せよ。

(1) 6 個の値 5, 8, 4, 2, a, b からなるデータの平均値と中央値がともに 6 であるとき, a, b の値を求めると $a =$, $b =$ である。ただし, $a < b$ とする。

(2) 関数 $f(x) = |x| + |x+1| + |x+2| + |x+3|$ は, 最小値 をとる。

(3) 座標空間において, 原点 O を中心とする球面 S と, すべての頂点が S 上にある正四面体 T を考える。 $A(\sqrt{2}, 0, 1)$, $B(0, -\sqrt{2}, -1)$ が T の頂点であるとき, S の半径は であり, T の残りの頂点の座標をすべて求めると である。

(4) 自然数 $p_1, p_2, \dots, p_n, q_1, q_2, \dots, q_n$ が $p_k > q_k$ ($k = 1, 2, \dots, n$) を満たすとする。 $0 \leq x \leq 1$ に対し, 関数

$$f(x) = \{x^{q_1}(1-x)^{p_1-q_1}\} \{x^{q_2}(1-x)^{p_2-q_2}\} \dots \{x^{q_n}(1-x)^{p_n-q_n}\}$$

は, $x =$ のとき最大となる。

2 次の問題文の空欄 から にあてはまるものを解答欄に記入せよ。

(1) a, b を 0 でない実数とし, $f(x) = e^{ax} \cos bx$ に対して $f'(x) = e^{ax} \left(-\frac{1}{2} \cos bx - \frac{\sqrt{3}}{2} \sin bx \right)$ が成り立つとする。このとき, a, b の値は $a =$, $b =$ であり, $f(x)$ の第 8 次導関数は $f^{(8)}(x) = e^{ax} \cos \left(bx + \text{ケ} \right)$ となる。ただし, は $0 \leq \text{ケ} < 2\pi$ を満たす実数であり, 解答に a, b の文字を使ってはならない。

(2) $f(x) = x^3 - 3x^2 + 2x$ とする。 $\int_{-1}^4 f(x) dx =$ となる。また, 任意の実数 a に対して $\int_0^a f(x) dx = \int_b^a f(x) dx$ が成立する 0 でない b の値は $b =$ である。曲線 $y = f(x)$ の $y \geq 0$ の部分と x 軸で囲まれた図形を, x 軸のまわりに 1 回転してできる回転体の体積は である。

(3) 0 でない複素数 z が $\sum_{n=0}^6 z^n = 0$ を満たすとする。このとき, $\left(\sum_{n=0}^6 z^{n^2} \right)^2$ の値は である。また, $2 + z + z^2 + z^4$ を解にもち, 整数を係数とする n 次方程式 $x^n + a_1 x^{n-1} + \dots + a_n = 0$ ($n \geq 1$, a_1, \dots, a_n は整数) で, n が最小となる方程式は $= 0$ である。

3 n を自然数とする。A, B の 2 人が, 以下の設定でどちらかが優勝するまでゲームを繰り返す。1 回のゲームでは確率 $p = \frac{1}{3}$ で A が勝ち, 確率 $1-p = \frac{2}{3}$ で B が勝つ。A が n 勝する前に B が 5 勝したら B の優勝とし, B が 5 勝する前に A が n 勝したら A の優勝とする。4 以下の自然数 n の中で, A が優勝する確率が $\frac{1}{2}$ に最も近くなる n を求めよ。

4 2 つの自然数 x, y の最小公倍数を $[x, y]$, 最大公約数を (x, y) と書く。また, 3 つの自然数 x, y, z の最大公約数を (x, y, z) と書く。このとき, 任意の自然数 a, b, c に対して $([a, b], c) (a, b, c) = (a, c) (b, c)$ が成り立つことを示せ。

5 xy 平面において, 1 でない正の実数 r に対して $\frac{x^2}{r^2} + \frac{y^2}{r^2-1} = 1$ で表される曲線を C_r とする。 $0 < \beta < 1 < \alpha$ を満たす定数 α, β に対し, C_α と C_β の交点をすべて求めよ。また, 交点 P を任意に 1 つ選んだとき, P での C_α と C_β の接線は互いに直交することを示せ。

6 多項式 $P_0(x), P_1(x), P_2(x), \dots$ および $Q_0(x), Q_1(x), Q_2(x), \dots$ を

$$P_0(x) = x, \quad Q_0(x) = 1, \quad P_n(x) = \sum_{k=0}^n \frac{(-1)^k}{(2k+1)!} x^{2k+1}, \quad Q_n(x) = 1 + \sum_{k=1}^n \frac{(-1)^k}{(2k)!} x^{2k} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

により定める。 $x \geq 0$, $m = 0, 1, 2, \dots$ に対し, 以下の不等式を示せ。

$$P_{2m}(x) \geq \sin x \geq P_{2m+1}(x), \quad Q_{2m}(x) \geq \cos x \geq Q_{2m+1}(x)$$